

草加なかよし保育園 園の自己評価

① 法人理念

社会福祉法人わかば会は子どもの最善の利益を尊重しその保護者の就労と地域の子育て支援を目的として経営を行い地域の福祉を積極的に推進する

② 令和5年度草加なかよし保育園の保育方針

- 1 子ども達が伸び伸びと楽しく、生活できるよう安全な環境づくりを心掛けていく
- 2 園児一人一人の発達や成長に合わせた援助を行い、自主的、主体的に関わる力を育てる
- 3 自己肯定感、自己有用感を高める為豊かな心、思いやりの心を育てる
- 4 保育者同士での声掛け、連携を行う中で子ども達の見本となり接していく
- 5 キャリアアップ研修、専門分野研修等に参加し研修報告をすることで、全体に周知し、質の高い保育の実践に努める

③ 令和5年度目指す子ども像（園目標）

- 1 礼儀正しくけじめのある子
- 2 仲間と共に育ちあう心豊かな子
- 3 目標にむかってがんばる子

④ 令和5年度求める子どもの姿

健康な心と体	保育所の生活の中で、充実感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しを持って行動し、自ら健康で安全な生活を作り出すようになる
自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行う為に考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を持って行動するようになる
協調性	友達と関わる中で、互いの思いや考え等を共有し、共通の目的の実現に向けて考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感を持ってやり遂げるようになる
道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、して良いことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場になって行動するようになる また決まりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いをつけながら、決まりを作ったり、守ったりするようになる
社会性との関わり	家族を大切にしようとする気持ちを持つと共に、地域の身近な人と触れ合う中で、自分が役に立つ喜びを感じ地域に親しみを持つようになる 保育所内外の様々な環境に関わる中で、遊びに必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりする等情報を役立てながら活動するようになると共に、公共の施設を大切に利用する等して、社会との繋がりを意識するようになる

<p>思考力の 芽生え</p>	<p>身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組み等を感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりする等、多様な関わりを楽しむようになる また友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりする等、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えもより良いものにするようになる</p>
<p>生命の尊重 自然との 関わり</p>	<p>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化等を感じ取り、好奇心や探求心を持って考え言葉等で表現しながら、身近な事象への関心が高まると共に、自然への愛情や畏敬の念を持つようになる また身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にす気持ちを持って関わるようになる</p>
<p>量・図形・ 文字等数</p>	<p>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字等に親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚を持つようになる</p>
<p>言葉による 伝え合い</p>	<p>保育士等や友達と心を通わせる中で絵本や物語等に親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたこと等を言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる</p>
<p>豊かな感性と 表現</p>	<p>心動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方等に気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲を持つようになる</p>

⑤ 評価

自己評価の基準			
A よくできた			
B ほぼできている			
C 次年度以降努力義務			
領域	評価の観点	自己評価	
運営体制	1 能率的、合理的な運営組織になっているか	A	
	2 職務内容が明確で協働できる体制か	A	・毎月の運営計画に提出物の締め切りや担当の仕事を記載し全職員で確認できるようにしていく
	3 職員の配置は適材適所か	A	
	4 行事の分担や担当の振り分けは適切か	A	・職員の意見を汲み取り、分担することができた
	5 各種会議を適切かつ効率的に進めているか	A	・クラス懇談の実施により、情報共有ができた
	6 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言をし、施設の運営に関わっているか	A	
	7 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か	A	
	8 保育方針の周知・反映はできているか	A	・全体会議で読み合わせを行い、全職員に周知ができるようにしていく
	9 開かれた園の運営をしているか (地域への保育公開)	A	・公開保育ではポスターやお便りで周知したことで昨年度よりも多くの方に参加してもらうことができた
保育目標	1 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	A	
	2 目標は各施設や地域の特色を生かしているか	A	
	3 目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか	B	・行事への取り組みに対し保護者から理解を得られていない様子が見られた為、個別面談や保護者会等で周知をしていく
	4 目標は前年度の反省を生かしているか	A	
	5 目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	B	・朝礼や全体会議、ラインワークス等で周知していく
育保	1 指導計画は乳幼児の実態に即して	A	・クラス懇談を通してクラスの様子を担当間で話

	作成しているか		し合い作成することができた
	2 保育所保育指針に基づく援助、支援を適切に行っているか	A	
	3 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	A	
	4 素材・用具を適切に活用しているか	A	
	5 評価結果を基に保育の改善に努めているか	A	
年齢別・クラス経営・日々の保育	1 年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定できているか	A	
	2 年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか	A	
	3 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか	A	
	4 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか	A	
	5 意義や趣旨を理解した保育を行っているか	A	・全体会議等で行事のねらいを伝えることで全員共通理解することができた
	6 質の高い保育の提供意欲はあるか	A	
	7 指導の工夫改善をしているか	A	
	8 気になる子への対応は適切か	A	
	9 特色ある教育活動を取り入れているか	A	
	10 1日の流れは現行で良いか	A	
	11 伸び伸びと遊べる環境提供ができていますか	A	
	12 道徳性の芽生えができるような取り組みをしているか	A	・遊びや日常生活の中で子ども達に伝えることができた
	13 年齢に合わせた生活習慣指導ができていますか	A	
	14 身近な人への親しみが持てるような取り組みをしているか	A	・父の日や母の日、敬老等、制作を通して親しみを持つことができた

年齢別・クラス経営・日々の保育	15 幼児の人間関係は円滑か	B	・都度人権指導を行っていく
	16 子どもと保護者と保育者の信頼関係は築けているか	C	・保護者に寄り添い、個別面談等を通して丁寧に対応していく
	17 園児は園への適応をしているか	A	
	18 年齢に応じた食育活動を行っているか	A	・クラス担任と食育委員会で話し合い、年齢や環境に適した活動を設定することができた
	19 主体的に学びが芽生えるような取り組みを行っているか	A	
	20 体力が向上するような活動をしているか	A	・外遊びやリズム等各クラス子どもの発達に合わせて計画することができた
	21 振り返りや発達の記録を適切に集積できているか	B	・運営で確認していく
行事	1 行事の種類や実施回数は適切か	A	
	2 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか	A	
	3 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動をしているか	A	
	4 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	A	
	5 保護者の願いや意見を取り入れているか	A	・建設的な意見を取り入れることができた
	6 行事への取り組みは全職員共通理解のもと進めているか	B	・全体会議で行事のねらいやタイムテーブルを確認し、共通理解ができるようにする
保健・安全指導	1 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか	A	
	2 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	A	・定期的に散歩ルートの見直しを行い、安全に留意していく
	3 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為家庭への啓発を行っているか	A	・保健だよりの発行、感染症理解の為の掲示を実施することができた
	4 乳幼児の安全確保の為家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	A	
	5 年齢に合わせた健康・安全指導を行っているか	A	

研究・研修	1 研修・研究主題は保育目標の具現化につながるものであるか	A	
	2 園内研修の計画・運営は適切か	A	
	3 研修・研究の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか	A	
	4 研修・研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか	A	
	5 外部の各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか	A	
	6 外部の各種研究会、研修会、講習会の内容を園内で共有しているか	A	
情報	1 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	A	
	2 公文書収受、発送、処理を適切に行っているか	A	
	3 各表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか	A	
施設・整備	1 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか	A	
	2 遊具・用具等を活用しやすいよう整理・保管しているか	A	
	3 不審者等への対策を機関と連携し行っているか	A	・草加警察の指導を受け対策をしている
	4 衛生環境の整備に配慮しているか	A	
	5 掲示板、掲示場所等を適切且つ効果的に活用しているか	A	
出納経理	1 各種会計を適切且つ適正に処理しているか	A	

保護者	1 保護者との連携は取れているか	B	・行事の目的、ねらいを周知したが何度も伝え、より丁寧な支援をしていく
	2 親支援となる活動を行っているか	A	・子育て講座の開催や個別面談等必要な家庭に合わせた活動を行うことができた
施設間交流・連携	1 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものか	A	
	2 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事ができるような配慮や援助・支援を行っているか	A	・作品交流や1年生との交流会に参加することができた
	3 指導者同士が打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか	A	
	4 参観や保育・授業等に参加するなどして幼稚園・小学校の教育を理解しているか	A	
	5 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか	A	
	6 幼保小中と連携した事業を行い、子ども教育連携推進に取り組んでいるか	A	・挨拶運動やマラソン大会の応援等取り組むことができた
家庭・地域社会との連携	1 参観時間を制限せず、保護者以外にも対象にした参観日等を設定しているか	A	・公開保育を設け、地域に向けても参観できるようにし、多くの方に園を公開することができた
	2 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か	A	
	3 乳幼児の興味関心に基づいて地域社会その他施設と交流しているか	A	
	4 地域の行事に積極的に参加し地域の文化や生活に触れているか	A	・全職員が地域の行事にボランティアとして参加することができた
子育て支援の推進	1 地域の子育て支援の場として園庭や交流事業を実施しているか	A	
	2 地域に住む子ども同士あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定をしているか	B	・園庭開放の周知期間が短かった為ポスター掲示を1か月前にし、町会に回覧板をまわしてもらうことで周知活動を行っていく

子育て支援の推進	3 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか	A	・子育て講座を開催し、保護者同士の懇談の時間を設定することができた
	4 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか	B	・園庭開放を利用した子育て相談を充実できるような周知活動に努めていく
	5 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか	A	
情報の発信	1 園の公開に努めているか (自己評価の公表等)	A	
	2 保育園のお便り・ホームページ等で施設の情報を発信しているか	A	
	3 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか	A	・協議会にて情報の共有をし、周知することができた
園内・外部評価	1 保育の評価を行っているか	A	
	2 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	C	・予算等も含め検討していく
	3 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	A	・その都度話し合いできる範囲で反映することができた

⑥ 総合評価と次年度への課題

- ・ラインワークスを導入し、毎日の朝礼や会議の議事録、保護者からの伝達事項等を掲載することで、全職員に周知をし、情報共有を図ることができた
- ・職員が興味のある研修について意見を聞き、実施したことで意欲的に参加することができ、保育の質向上に繋げることができた
- ・行事の取り組みやねらいを全職員が共通理解を持って取り組めるよう、朝礼や全体会議等で周知することができた
- ・提出物等の締め切りが過ぎてしまうことが多く、保護者への周知が遅れてしまうことがあった為毎週の運営会議にて確認し、職員へ働き掛けていく